

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-04-01

No. 118



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 32 Ed. 2 修正 1 (2019-10) マルチメディア機器-エミッション要件(1/2)	3
IEC: 新規格リスト	7
ISO: 新規格リスト	8
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 179 回セッション報告書(3/4)	10
UNECE: 第 82 回内陸輸送委員会総会: 車両規制の最新動向	11
UNECE: 厳格な新車両排出ガス規制(UN GTR No. 15 WLTP に基づく)を承認: 2020/1/20	13
国際テーマ: ネットワーク機器等データセンター製品の TCO 認証	14
国際テーマ: 電気製品に関する日本の規制について	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	15

USA: FCC: Part 2: KDB: 供給者適合宣言 (SDoC) を利用した、RF デバイスの認可手順は?	16
USA: FCC: Part 2, 20, 68: 補聴器両立性ハンドセット規格 ANSI C63.19-2019 を採用	17
USA: FCC: Part 15: 地方における接続性を拡張: ホワイトスペース規則の更新を提案	18
USA: FCC: Part 15: 駐車場占有センサー技術に関する FCC 規則の適用免除を申請	19
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	21
カナダ: RSS-181 — 海事サービスで動作する沿岸および船舶ステーション機器	21

EU, UK: BREXIT: 将来の EU-UK パートナシップ: 欧州委員会が法案の草案を公開	23
EU: EMC 指令: 整合規格のサマリーリスト公表 2020/03/06 付け	23
EU: 無線機器指令 (RED): ソフトウェア無線機 関連委任法行為意見募集	23
EU: 新しい医療機器規制 2017/745(MDR) の共同実施/準備計画	25
EU: CENELEC: 新規格リスト	27
EU: ETSI: 新規格リスト	29

中国: SRRC: 工業情報化部が中国電信等三社に 5G システムの室内周波数の共同使用を許可	29
中国: CNCA: 強制性製品認証 (CCC) 試験所の拡大 通常指定実施範囲の公告	30
中国: CNCA: 認証機関の資格審査における「証照分離」改革の推進に関する公告	31
中国: CQC: 空調製品の省エネ認証の標準要件の新バージョンの実装に関する発表	31
中国: 新規格リスト	32
台湾: 商品検証登録弁法 条文の一部改正: 検証登録モジュール等の変更	32
台湾: 電動バイク用充電システム設備及び電池交換システム設備商品の関連検査規定	34
台湾: 両端接続式 LED ランプ商品の関連検査規定を改正	34
台湾: 両端接続式 LED ランプの許容エネルギー消費基準、表示及び検査方式の改正	34
台湾: 省エネ関連「自動車、プラグインハイブリッド車、オートバイの表示形式」を発表	34
台湾: 新規格リスト	35
韓国: RRA: インターネットマルチメディア放送事業の電気通信設備に関する技術基準	35
韓国: RRA: 電気通信設備の耐震試験方法を改正する公告	35
韓国: KATS: 電気用品安全基準 (KC 61851-1, KC 62196-2) の改正 (案) 予告	36
マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年] (5/9)	36

総務省: IEC: CISPR 上海会議の審議結果: 情報通信技術分科会 (第 147 回) から (2/2)	38
総務省: 令和元年度無線設備試験テストの中間結果報告 (3 月期)	41
総務省: 構内における空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件—意見募集	42
経済産業省: 電気用品の試験テスト: 平成 30 年度結果が発表された	43
経済産業省: FIT 制度における 2020 年度の買取価格・賦課金単価等を決定	43
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2020 年 3 月分)	43
国土交通省: ペダル踏み間違い時加速抑制装置を国が認定します	44
ちょっといっふく〜小クイズコーナー EN IEC 6xxxx の表記を定めている協定	15
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	22
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: CISPR 32 Ed. 2 修正 1 (2019-10) マルチメディア機器-エミッション要件(1/2)

- CISPR 32 Ed. 2.0 修正 1 (2019-10) マルチメディア機器の電磁両立性 - エミッション要件が、2019-10 付で発行された。この修正 1 の主な内容を紹介する。
- 「測定計装の不確かさは、適合遵守の決定の考慮に入れない」という既存の規定が大幅に書き換えられた。試験ラボの不確かさが CISPR 16-4-2 : 2011 / AMD2 : 2018, 表 1 の U_{cisp} の値よりも大きい場合は、両者間の差により必要な試験結果の調整を行い、それが規定限度値を超えてはならないことと、規定された。
- 「C.2.2.2 放射エミッション測定用のアンテナ」での変更
従来、CISPR 32 は、アンテナ校正要件について ANSI C63.5 を参照していた。本版では、「アンテナ校正は、CISPR 16-1-6 : 2014 / AMD1 : 2017 の手順を使用し、CISPR 16-1-5 : 2014 / AMD1 : 2016 で定義されている施設を使用すること」と、変更された。等々

UNECE: 第 82 回内陸輸送委員会総会: 車両規制の最新動向

- 車両の自動化に関して、以下の事項が報告された:
 - ✓ WP.29 の再構築、及び自動化/自律および接続された車両に関する作業部会 GRVA の設立
 - ✓ 自動化/自律車両に関するフレームワークドキュメントを作成
 - ✓ 4 つの新しい非公式ワーキンググループ (IWG) の設立

USA: FCC: KDB: 供給者適合宣言 (SDoC) を利用した、RF デバイスの認可手順は？

- SDoC の利用による RF デバイスの認可手順に関する質問と回答
- 一つの最終製品にデジタルロジック回路などの非意図的放射機器、及び意図的放射機器両者を組み込んでいる機器（複合システム機器）に関しては、非意図的放射機器の部分は、通常「SDoC」又は「証明」のいずれかで認可される、他方、その機器に組み込まれる無線送信機などの意図的放射機器には、一般的に「証明」が要求される。機などの意図的放射機器には、一般的に証明が要求される。

EU: EMC 指令: 整合規格のサマリーリスト公表 2020/03/06 付け

- 2020/03/06 付けで EMC 指令の 整合規格サマリーリストが EU サイトに掲載

EU: 無線機器指令(RED): ソフトウェア無線機 関連委任法行為意見募集

- 第 3 条(3)(i)、および第 4 条に関する更新 (ソフトウェア無線機関連委任法行為)
- EU 当局は、一般市民と利害関係者にデータ収集実施に貢献するようお願いする。このデータ収集に基づいて、欧州の単一市場向けに承認された再構成可能な無線システムが、新規または変更されたソフトウェアのインストール後も無線機器指令に準拠し続けることを保証する委任法行為を作成する参考にする

中国: SRRC: 工業情報化部が中国電信等三社に 5G システムの室内周波数の共同使用を許可

- 工業情報化部が中国電信、中国聯合通信、中国広電に 5G システムの室内周波数の共同使用を許可
- 全国において 3300~3400 メガヘルツの周波数帯を室内での 5G カバレッジに使用することに同意した。

社長の独り言

令和 2 年 3 月 23 日

濱口慶一

日本全国にコロナウィルスが蔓延し、人の集まりや移動もかなり制約されています。不明なところが多いので対応の仕方が分からず、皆様も苦勞されているように思います。そのような中でコスモス塾も延期せざるをえなくなりました。皆様にご迷惑をお掛けして申し訳ない思いで一杯です。

弊社の業務にもコロナウィルスの影響は大きく、外国の認証機関の監査の延期、監督省庁の通達もあるのですが、国内企業への訪問なども少し控えているため、予定を大幅に変更しなければならないケースが生じ始めています。米国カリフォルニア州サンタクララに在住の友人から届いたメールでは、外出は基本的に禁止、食料を購入に出かけることしか許されない、ほとんどの企業は在宅勤務のようです。データ通信網が高度に発達している米国だからできた対応だと思います。在宅勤務で対応されているお客様もいらっしゃると思いますが、日本国内ではまだまだ通信回線の容量やスピードが米国並みになっていない地域や設備のところがあります。

コロナウィルスの騒ぎで思い出したことがあります。私が以前勤めていた会社では、社員が風邪をひいても、「這ってでも出社しろ」と言われていました。幸い、私は風邪やインフルエンザにかかったことが減多になかったのですが、東京での勤務中に JR の労働争議でストライキが実行された時、今日は JR のストだ、休めるぞと気が緩んだところ、歩いてでも来なさいと通達が出て、線路道を歩いて出社する羽目になったこともあります。現在ではそれはパワハラとして厳禁ですが、大戦後の引揚兵士の家に生まれた私は、少年期に父親に少しでも怠け姿勢と思われたら即、ピンタやひしゃく（水の入ところがアルミのタイプ）でどつかれた経験があり、その頃と比べて状況は大きく変わったものだなと思います。

弊社では高トレーサビリティを確立した成果物を提供できるように、体制や書式の改良に取り組んでいます。サイレントチェンジや日本独特の生活習慣からくるリスクを少しでも排除するための製品評価を依頼業務の中で確立したいとの思いに、社員が動いてくれているので大いに期待しています。

ここで書いて良いものかと思うのですが、当社のスタッフの力量を向上させるには、実際に企業で設計開発や製品安全の担当をされていた方達の豊富な経験や知識が必要と考えています。読者の皆様に定年退職後も製品安全業界に関わりたい方がおられましたらぜひご連絡下さい。東京地区、関西地区、松阪本社での勤務で、営業職や、ソフト開発要員（将来の AI 技術利用のため）も募集中です。

趣味の日本蜜蜂の養蜂ですが、5 群の中の一群が消滅（多分アカリンドニによる）、4 群が無事に越冬しました。それとお呼びでない西洋蜜蜂が勝手に巣箱に入りましたが、彼らも厳しい冬を乗り切ったようで、巣箱からの元気の良い出入りが確認できます。日本蜜蜂の専門家によれば、西洋蜜蜂の自然越冬は非常に珍しく、一度 VTR に収めたいと自宅訪問を受けたことがあります。趣味の養蜂家も私の年齢に近い方が増えて、私と同じように養蜂をしたいと思う方が沢山増えたせいか、保健所への登録が役所を通じて厳しくなってきました。今までのように巣箱に勝手に入ったという訳にはいかず、日本蜜蜂、西洋蜜蜂の種別、群数、置き場所、巣箱のタイプなどの情報の記述が必要になります。でも役場から申請して下さいと連絡通知が来るのは、うっかり忘れたということが無くなるので良いことだと思います。気候も良くなり、暖かくなってきて春特有の分蜂の時期ですので、巣箱に入ってくれることを祈って数箱を自宅近くに置きたいと計画しています。

さて、まもなく 4 月になります。会社の近くにある早咲きの桜は既に緑の若葉に変わり、ソメイヨシノは 1 分咲き位で、4 月最初の週当たりが満開になりそうです。一刻も早く今回のコロナウィルスの事態が終息することを願っています。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行 : 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格 : 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-04-01 (No. 118)

発行所 : 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人 : 濱口慶一

編集人 : 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。